

長野の林業

No.
389
2023.9.10

特集

長野県における近年の山地災害

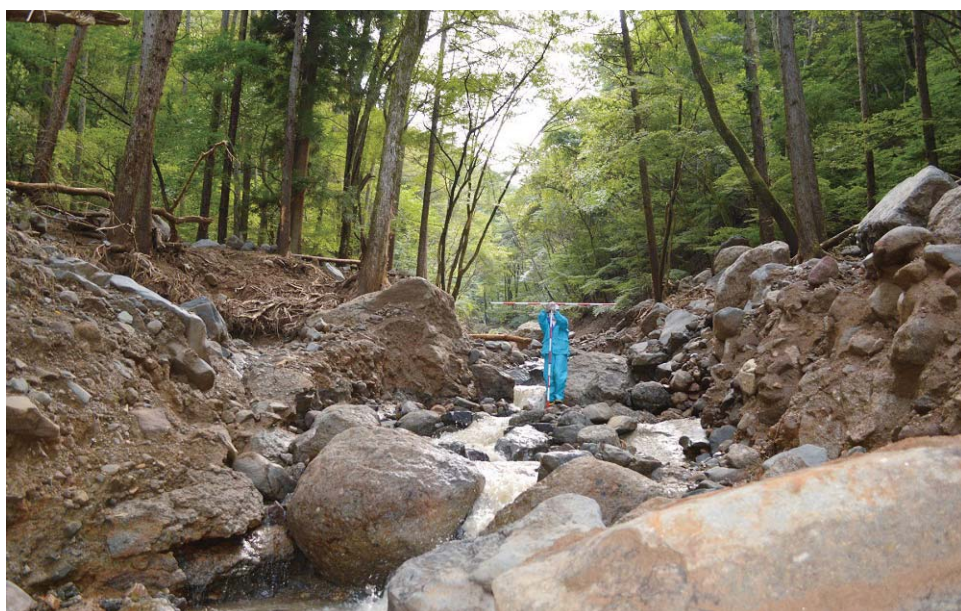
トピックス

- ・信州の森で働きたい！を応援します
- ・県産材で「ウッドチェンジ」

地域の話題

- ・上田地域

県森連だより



令和3年9月
災害発生直後の下馬沢川上流部



災害関連緊急治山事業
による谷止工

令和3年9月5日、茅野市高部地区において最大24時間雨量123.0mm、最大時間雨量38.0mmを観測する豪雨災害が発生しました。

この豪雨により、高部地区を流れる下馬沢川上流部の土砂が、土石流となって地区内を流下し、下流の人家、商業施設及び県道へ大量の土砂が流出する被害が発生しました。

現地では、発生直後から災害関連緊急治山事業による谷止工が施工され、引き続き治山事業による整備が進んでいます。



長野の林業
フルカラー版

長野県における近年の山地災害

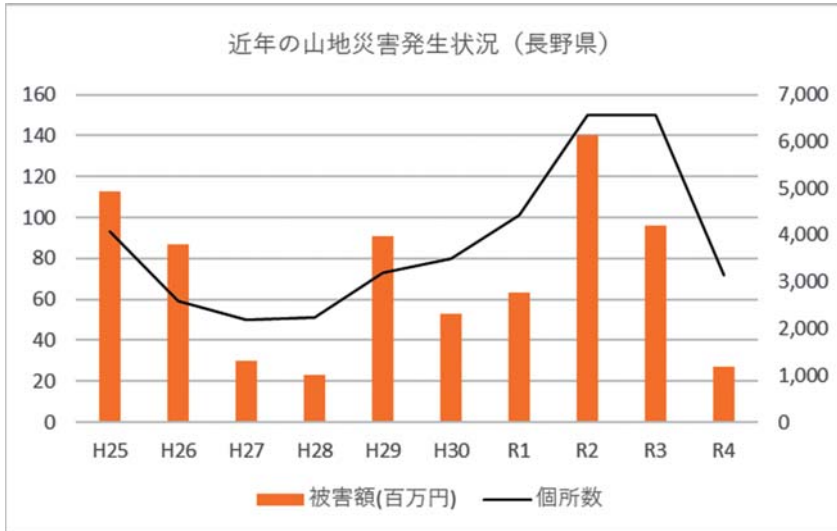
毎年、日本全国各地で多くの山地災害が発生しています。

それは長野県も例外ではありません。過去10年を見ると、発生状況に波はあるものの、令和元年台風19号災害、令和2年7月豪雨災害、令和3年8月・9月豪雨災害と立て続けに大きな災害が発生しています。特に、令和2年災害では線状降水帯が発生し、南信地域を中心におよそ一ヶ月間、雨が降り続き甚大な被害となりました。

過去に被害を受けた箇所についても、まだ完全に復旧したとは言えない状況の中、今年も6月に梅雨前線の活発化による豪雨災害が伊那、飯田、木曾地域を中心に発生しました。

林務部としましても地域の皆様に安心して生活していただけるよう、被災箇所の早期復旧に全力で取り組んでいきます。

また、災害復旧工事にご協力頂いている地域の皆様、復旧工事にご尽力頂いている関係者の皆様には、この場をお借りして御礼申し上げます。



令和5年6月豪雨災害の状況



溪流上流部が崩壊、土砂が下方の国道へ流出し、一時通行止めとなりました。【飯田市】



山腹が崩壊、溪流内を流下し下方市道や水道施設が被災しました。【伊那市】

令和3年8月豪雨災害からの復旧

令和3年8月14日から15日にかけて、長野県の中南信地域を中心に豪雨となりました。各所で山地災害が多発し、また、お盆の時期と重なったこともあり、人的被害も発生するなど、甚大な被害を及ぼしました。県としても災害発生直後から治山事業により復旧に取り組んでまいりました。ここでは、令和3年8月豪雨災害からの復旧状況についてご紹介します。

【岡谷市 内山】

県道上部の溪流内で土石流が発生し、下流の霊園及び県道へ土砂が流出しました。この被害により、お盆期間中の霊園が閉鎖されました。溪流内には土砂や倒木が堆積しており、今後の降雨による堆積土等の再流出の懸念がありました。このため、倒木等を除去し、再流出を防ぐための谷止工を施工しました。



【上伊那郡 辰野町 桜の沢】

溪流上流部で崩壊が発生し土石流となり、下方の林道へ土砂が流出しました。溪流内には土砂や流木が堆積しており、今後の降雨等により土砂・流木が再度流出し、林道へ被害を与える恐れがありました。このため、流木の再流出を防ぐために除去をし、また、溪流内の土砂の再流出を防ぐために谷止工を施工しました。

<谷止工>
ダムを造りその上流側に土砂をためることで、溪流の勾配を緩くして土砂の移動を抑えます。流れてきた土砂を受け止めるタイプもあります。



【森林づくり推進課】



1 長野県による林業人材の確保・育成事業の概要

信州の森で働きたい！を応援します

1 新規就業者の確保			
事業名	支援対象	事業内容	補助率等
新 信州の森で働く人材確保推進事業	新規就業者 ★ (移住者)	県外から移住を伴い林業に就業する者への支援金※ (ただし、東京圏、愛知、大阪からの移住はUIJターン就業支援金(産業労働部)を活用)	単身最大 60 万円/人 世帯主最大 100 万円/人 (子ども加算あり)
	新規就業者 ★ (転職者)	林業以外の分野から林業に就業する者への支援金 (移住者への支援金との重複受領可)	10 万円/人
	新規就業者等 ★	先輩林業者との相談窓口の設置(先輩林業者を紹介)	相談対応者の所属事業体に謝礼

※移住者への支援は、東京圏、愛知、大阪からの移住はUIJターン就業支援金(産業労働部)を活用し、それ以外の地域からの移住者を対象
なお、UIJターン支援金を活用するには事業者が「マッチングサイト」に登録することが必要
【長野県移住支援金マッチングサイト】<https://www.pref.nagano.lg.jp/rodokoyo/sangyo/rodo/koyo/matchingsite.html>



2 保育従事者の確保			
保育従事者以外も可			
(1) 林業労働力緊急確保対策事業			
事業名	支援対象	事業内容	補助率等
拡 林業労働力緊急確保対策奨励事業	林業事業者 ★	林業就業者を新たに雇用した場合に奨励金を交付 (昨年度の雇用者数よりも増加した人数が対象、緑の雇用は対象外)	人件費等の 1/2 (上限 12 万円/月・最長3ヶ月)
中途採用定着促進	林業事業者 ★	新規就業者向けの林業基本講座及び雇い入れ時に必要な資格(刈払い機、チェーンソー)取得の補助	10/10

(2) 林業労働力活用促進対策事業			
事業名	支援対象	事業内容	補助率等
拡 林業労働力マッチング支援	林業事業者	圏域を越えた労働力の移動に必要な経費への補助 (交通費、機械運搬、仲介業務等)	1/2
拡 主伐・再造林条件整備	林業事業者 団体有林	専門家の派遣や研修会の実施等への補助	10/10

3 多様な担い手の確保			
事業名	支援対象	事業内容	補助率等
新 多様な林業の担い手確保育成事業	林業事業者 ★ (選定経営体・認定事業者以外)	就業者準備金、安全福利厚生及び兼業等への支援 ・新規就業者に必要な機械や安全装備等の準備金 ・安全装備品、福利厚生対策への支援 ・兼業、林福連携受入れ支援	①就業準備金 10 万円/人 ②安全装備品 1/2 ③福利厚生 1/3 ④受入れ 3 万円/回
	県(委託)	中学校の職場体験、イベント開催等認知度向上	—

4 創業チャレンジの支援			
過去3年間に創業した事業者が対象			
事業名	支援対象	事業内容	補助率等
新 林業創業支援	林業事業者	造林事業等の林業の創業に必要な機械等の導入を支援	1/2

5 定着促進<経営基盤の強化や生産性の向上、就業環境の改善、安全対策の強化>			
事業名	支援対象	事業内容	補助率等
拡 持続的な林業経営の確立支援事業	林業事業者 ☆	・林業事業者の経営力の向上のための研修の実施等 ・キャリアモデルの作成(優良モデルの分析や紹介)	—
拡 林業就労条件整備促進事業	林業事業者 ★ (選定経営体・認定事業者)	林業事業者の就業環境の改善に対する支援 ・退職金共済掛け金、振動病特殊健診受診、蜂アレルギー検査、エピネフリン注射器購入費の支援	1/3
拡 林業労働災害防止対策事業	林業事業者 ★ (選定経営体・認定事業者)	労働災害の防止のため、巡回指導等の実施、安全装備品への支援等	安全装備 1/2

※長野県林業労働力確保支援センター((一財)長野県林業労働財団)が窓口となる事業 ★印:補助事業 ☆印:委託事業

全国トップクラスの働きやすい林業県を目指し、令和5年度は人材の確保・育成関連予算を倍増！
林業事業者や新規就業者の皆さんを応援します。



2 長野県林業労働力確保支援センター（(一財)長野県林業労働財団）によるサポート

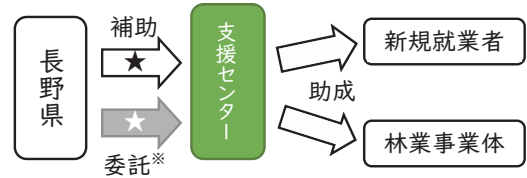
■令和5年度助成事業の受付について

右ページの一覧で「支援対象」欄に★及び☆印がある事業は、長野県林業労働力確保支援センター（(一財)長野県林業労働財団）が申請受付窓口となります。

詳細は下記ホームページの「助成事業」タブをご覧ください。電話またはメールでお問合せください。

【現在申請受付中の事業】

- 1 信州の森林で働く人材確保推進事業
- 2 (1) 林業労働力緊急確保対策事業
- 3 多様な担い手の確保育成事業
- 5 定着促進のうち「持続的な林業経営の確立支援事業」※
及び「林業労働災害防止対策事業」（安全装備導入支援）



【今年度の申請受付を締め切った事業】

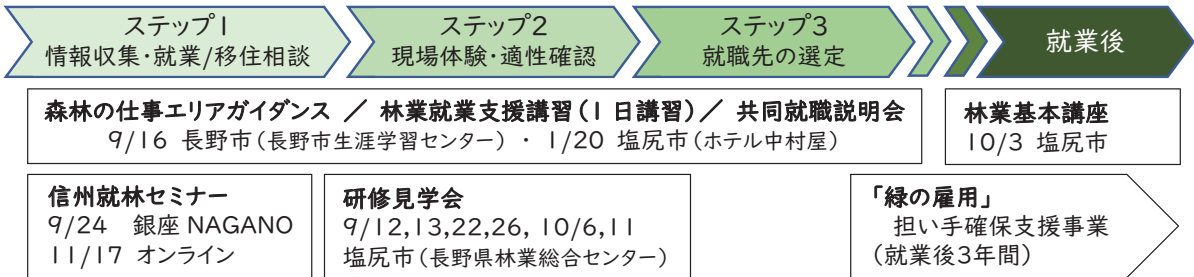
- 5 定着促進のうち「林業就労条件整備促進事業」

※令和5年度は支援センターが受託

■林業への就業に向けたサポート（R5年度9月中旬以降に開催予定のもの）

林業への就業を希望する人に対し、それぞれの段階に応じた情報提供や相談・体験等の機会を設けています。

各行事の詳細は下記ホームページをご覧ください。電話またはメールでお問合せください。



林業への就業を検討中の人を対象に、就業後1～3年の技能者（FW）の研修現場を見学する機会を設けるとともに、林業就業に関する個別相談を行っています。

研修生に質問！



初めて見る伐倒の瞬間



林業作業士（フォレストワーカー＝FW）研修
安全で効率的な作業を行うための基本的な研修を3年間受けることができます。



【問合せ先】

長野県林業労働力確保支援センター
（一般財団法人長野県林業労働財団）

電話番号：026-225-6080

メールアドレス：shien2@nrinrou.net

ホームページ：http://www.nrinrou.net/





県産材で「ウッドチェンジ」！ 〔令和4年度事業で開発した木質製品のご紹介〕

県産材製品の開発や需要拡大に繋げる取組を支援しました

令和4年度からの新規事業として森林環境譲与税を活用した「ウッドチェンジ普及促進支援事業」を実施し、13件の民間事業者の取組を支援しました。
今回は、事業成果の一部をご紹介します。



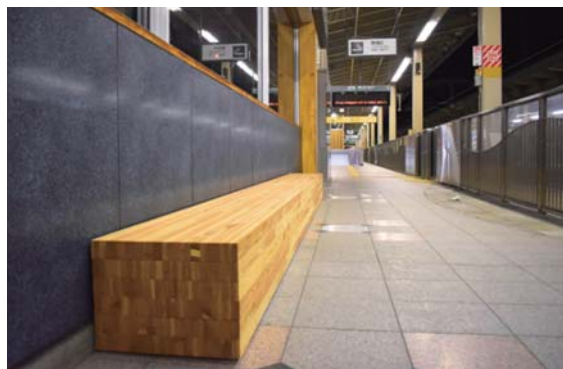
▲(有)やま秀田中建設 co屋(SAILタイプ)
@うえだ食彩館ゆとりの里

イベントテントを木質化すると...



※イメージ

「ウッドチェンジ普及促進支援事業」では、二酸化炭素の排出抑制やゼロカーボンへの取組により、国産材(県産材)に対する関心が高まる中、生活用品等をプラスチック・金属製品から木質製品へ転換(チェンジ)する格好の機会と捉え、県産材製品の需要拡大や魅力向上に繋げる取組を支援しました。具体的には、イベント等に使用する木製テントの開発や、既存の木質製品のPR範囲を県内から



▲齋藤木材工業(株) 県産カラマツの集成材ベンチ
@上田駅(新幹線ホーム)



▲in the pond 木のケーキ

全国へと広げ、県産材の需要拡大を狙った取組です。

暮らしに身近な生活用品等をウッドチェンジしてみませんか

今回の事業で取組のあった木質製品は、普段使用する生活用品や、オフィス・商業施設の雑貨・什器、特別な贈りものなど、どれも身近な暮らしに寄り添うような、木の温かみを感じられる製品です。
また、事業で取組のあった製品に限らず、この機会に県産材が使用された製品を、ぜひ手に取ってみて下さい。



▲(株)山崎屋木工製作所 木製ワインセラー



▲RED HOUSE FURNITURE プロダクト・カタログ
(県産材製品の魅力向上に繋げる取組)

「ウッドチェンジ」とは？

「ウッドチェンジ」とは、「身の回りのものを木に変える」「木を暮らしに取り入れる」「建物を木造・木質化する」など、木の利用を通じて持続可能な社会へ転換(チェンジ)し、木材利用を拡大していくための行動です。

【県産材利用推進室】



上田地域

東御市に木の体験複合施設『ミマキウッドラボ』がオープンしました

今年3月、東御市下之城の県道東部望月線沿いに木工作業ができる工房や木のあそび場など木育をテーマとした木の体験複合施設「ミマキウッドラボ」がオープンしました。

ミマキウッドラボは木の良さをより知ってもらおうと(有)田中製材工業(東御市)の田中俊章社長の発想から造られた木造2階建ての施設です。1階には本格的な木工機械を備えた木工作業室やラボによる木製品などの販売ショップ、県産材を活用した木のあそび場、ラウンジがあり、2階には多様な方々が共有できるコワーキングスペースや多目的なイベントホール、貸会議室などがあります。「木のあそび場」の木質内装と木のボールプールには、森林づくり県民税の補助金が活用されています。「いつでもだれでも地域クリエイターになれるものづくりビトの集いの場を地域の方々と共につくっていく」をコンセプトとしており、今後は県産材の内装で防音設備を備えた木質の音楽スタジオが着工予定で、2階の屋上テラスにはアウトドアの体験スペースやサウナ設備を構想中とラボはまだまだ進化しています。

みなさん、時々、木の香りに包まれながらコワーキングスペースで静かに仕事したり、工房で木工作業に没頭してみるのはいかがでしょうか。利用の際は、ミマキウッドラボのホームページからご予約ください。



ミマキウッドラボ 外観



木に囲まれたコワーキングスペース



多目的に利用できるイベントホール

【上田地域振興局林務課】

林業薬剤に関するお悩みは、長野県林業薬剤防除協会が解決します！

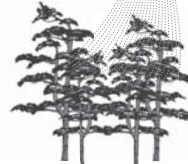
当協会は、林業薬剤の安全かつ適正な使用方法の普及を図り、病虫獣害から森林を守ることを目的として活動しております。

- 県・市町村等で開催する林業薬剤の講習会への講師の依頼。
- 庭の先祖代々の松を守りたい。どんな林業薬剤を使用すればいいの？ など

— 林業薬剤に関するご相談はこちらまで —

長野県林業薬剤防除協会

長野市岡田町30-16 長野県森林組合連合会 内
TEL 026-226-2504 FAX 026-226-2225



正会員

レインボー薬品(株)

㈱アグロ信州

サンケイ化学(株)

住友化学(株)

大同商事(株)

保土合アグロテック(株)

丸善薬品産業(株)

㈱ニッソーグリーン

日本曹達(株)

賛助会員

長野県森林組合連合会

(一社)長野県林業普及協会

(二財)日本森林林業振興会

長野支部

アキレス(株)



秋の記念市のご案内

◆原木 開設25周年記念市

《坂下事務所》9月21日(木)

入札開札13時 保証金10万円

◆製品 開設56周年記念市

荷主会結成55周年記念市

《本部事務所》10月14日(土)

入札開札9時 保証金10万円

◆原木 創立68周年記念市

「第39回 日本美林まつり」

～ 高国木曾ひのきブランド化10周年記念 ～

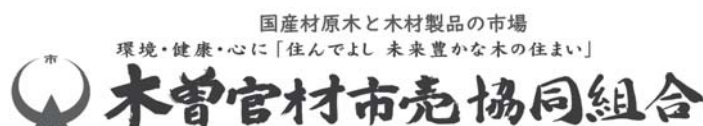
《荻原事務所》10月17日(火)

入札開札9時 保証金10万円

9月・10月の市売りのご案内

本部事務所 (製品)	荻原事務所 (原木)	坂下事務所 (原木)	国有林土場等活用 委託販売市売日
特選材市 9月16日(土)	9月20日(水)	開設25周年記念市 9月21日(木)	9月12日(火)
開設56周年記念市 10月14日(土)	創立68周年記念市 10月17日(火)	10月5日(木) 10月19日(木)	10月10日(火)

※入札参加資格・入札条件等詳細については下記へお問い合わせください。



ホームページアドレス <http://www.kisokan.com>

理事長 勝野 智明

本部事務所：長野県木曾郡上松町正島町2-45

☎0264-52-2480 FAX0264-52-2324

荻原事務所：長野県木曾郡上松町荻原字中島1431-1

やぶ原土場：長野県木曾郡木祖村数原844-1

坂下事務所：岐阜県中津川市坂下133-1

☎0264-52-2483(代) FAX0264-52-4885

☎0264-24-0085(代) FAX0264-24-0086

☎0573-75-3178(代) FAX0573-75-3172

長野県造林協会通常総会 森林・林業セミナー開催



6月28日、長野県林業センター（長野市）で長野県造林協会通常総会及び森林・林業セミナーが開催されました。本協会は79の会員（60市町村、15森林組合、4県域団体）によって構成され、再造林の推進や森林資源の有効活用、森林・林業に関する知見を深める活動のほか、森林整備に関する政策提言を、上部団体である「日本造林協会」を通して実施しています。

総会ではまず、令和4年度の業務報告が行われました。森林情報管理に必須となっているGIS（地理情報システム）について基本操作と活用方法を習得することを目的として「QGIS研修会」を3月に開催したほか、関係機関と連携して森林整備関連施策について国会議員への要請活動を行いました。本年も引き続き、各方面に森林の大切さと林業の役割の重要性を認識していただけるよう活動を推進してまいります。その後議事が執り行われ、議案についてそれぞれ審議の上、原案通り承認されました。

係機関と連携して森林整備関連施策について国会議員への要請活動を行いました。本年も引き続き、各方面に森林の大切さと林業の役割の重要性を認識していただけるよう活動を推進してまいります。その後議事が執り行われ、議案についてそれぞれ審議の上、原案通り承認されました。

総会後の森林・林業セミナーでは、森林に関する案件を専門とし、森林経営管理制度に関する講演活動を全国で展開されている那須法律事務所の商品川尚子弁護士を講師に迎え、「森林経営管理制度のヒントとコツ」森林経営管理法の特例措置か？令和3年改正民法の所有者不明土地管理制度か？〜と題して講演をいただきました。

講演では、森林経営管理制度について基本的な森林経営管理法の解説に始まり、当制度だけでなく施業集約化など森林整備事業を進めるうえで大きな課題となっている、所有者不明土地の問題について取り上げました。

森林経営管理制度でできるのは「管理」であるのに対し、令和3年改正民法の所有者不明土地管理命令では「処分」や「変更」も可能である違いに着目して、それぞれの制度での対応のヒントが判例を交えながら紹介されました。

令和元年にスタートした森林経営管理制度の県内各市町村での取り組みを後押しする内容のセミナーとなりました。

放送は、8月2日（水）から9月28日（木）まで、毎週水・木曜日17時15分からSBC信越放送ラジオで全18回行われ、AM/ワイドFMラジオ、「Radio Diko（ラジオ）」で聴取できるほか、YouTubeのSBCチャンネルで動画をご覧いただけます。

森林で働く魅力が森人が伝える充実の内容になっておりますので、ぜひお聴きください。



▲こちらから
Youtube 再生
リストで全編
ご覧いただけます

ON AIR

SBCラジオ特別番組

「信州から届け！」

森人日記

信州の森で働く人々の理解を深めていただく番組として、県内18森林組合の協力のもと、SBC信越放送ラジオで特別番組「信州から届け！森人日記」が放送されています。

番組では、長野県各地の森林を仕事場として働く人々を「森人（もりびと）」と呼び、普段の仕事や森林で働く良さ、日常の楽しみなどをインタビュー形式で、各森林組合の技能職員をはじめ森林で働く皆さんが語ります。放送後公開されるYouTube動画では、実際に森林で働く姿の写真や映像も見どころです。

昨年4年ぶりに開催し、大いに賑わった「長野県協同組合フェスティバル」が今年も開催されます。

長野県内の協同組合間連携の一環として、組合員同士の交流や県民の皆様が協同組合の活動を知っていただくイベントで、開催日は10月1日（日）の10時00分〜15時30分、長野市の「ながの表参道センターラールスクウェア」をで行います。入場は無料。

県内の協同組合や関係団体が商品を持ち寄り、農産物などの直売を行うほか、活動紹介や体験コーナーなど約36ブースが予定されています。

当日は長野市中央通り一帯を会場に「善光寺表参道秋まつり」も開催されます。秋の行楽に是非お出かけください。

各種お問い合わせは、実行委員会事務局 長野県生活協同組合連合会 まで。

☎ 026-261-1380

2023

長野県協同組合

フェスティバル

今年も開催します！

詳しくは
特設 HP から▶



令和5年度 森林組合 会計実務研修会

7月6日～7月7日に安曇野市のもくりゆう館で、令和5年度森林組合会計実務研修会を開催しました。

本研修会は、新しく森林組合に入った職員、もう一度会計を学びなおしたい実務者を対象に、森林組合の実務で行う取引の会計処理について、演習を通して学習するものです。

初日の午前中は、貸借対照表と損益計算書を構成する5つの勘定科目やその関係性を示した取引の8要素など、会計・簿記の基礎についておさらいし、消費税の仕組みについて学びました。

午後からは森林組合の事業で行う取引例題の演習に移り、指導部門、販売部門の買取・受託から、2日目の午前中に森林整備部門の森林整備事業（受託・請負）と購買事業と続き、2日目の午後からは受託森林整備事業の精算書の解説や決算時の仕訳について研修しました。特に受託と請負の違いについては、重要なポイントとして時間をかけて解説しました。

森林組合の会計は事業やあり方の多様さ、補助金を活用することから勘定科目や会計処理に他の業種では見られない独特なものがあり複雑になっております。

長野県森連では引き続き公正な会計処理を徹底し、森林組合の事業に資するようサポートしていきます。



森林組合職員会議を開催



7月21日、安曇野市のもくりゆう館で、令和5年度森林組合職員会議を開催し、県内の16組合34名が参加しました。今年度の職員会議は、インボイス制度への対応と森林保険業務を話題に行いました。

令和5年10月1日から施行される消費税インボイス制度に対し、長野県森連で行う木材販売事業の対応について、業務課から説明を行いました。そして、森林組合運営におけるインボイス対応について指導利用課が解説し、搬出間伐事業での精算書例を使った場合の表記や公正取引委員会から発出されている注意点、総務に関連するインボイスの特例について触れました。

10/1からは？（仕入先が免税事業者）

例）チェーンソーを110,000円（税込）で仕入れ、132,000円（税込）で販売する場合



森林組合は 12,000円（売上消費税） - 0円（仕入消費税） = 12,000円を納付

仕入先からのインボイスが発行されないので仕入税額控除ができない

※会議資料から抜粋

参加者からは、契約書や請求書、精算書での記載事項など、インボイス制度施行前に必要な準備や施行日後の組合員への対応について質問があり、現在進行形での課題が更に見えたほか、協同組合特例の適用拡大の要望も上がりました。

森林保険業務については、保険制度の基本的な仕組みや令和6年度からの保険料率等の改正点、引受業務、満期案内業務についての説明を行いました。森林保険は、森林所有者自らが災害に備える唯一のセーフティネットとして、被災地の復旧や林業経営の安定に大きな役割を果たしています。制度を理解し、適正に事務処理ができるよう改めて確認することが出来ました。



セーザイゲームで学ぶ！ 製材の世界



令和5年度
長野県林業職員協会勉強会



▲威勢よく材価が上がり、白熱するセリの様子



▲歩留まり良く木取りするのは難しい
チームワークと経営力が問われる

2023年8月3日、長野県林業職員協会の「勉強会」が安曇野市のもくりゆう館で開催され、27名の会員が参加しました。今回は、三重県熊野市を中心に川上から川下までの関係者が集まり活動している「熊野林屋会」から野地伸卓氏と野地良成氏を講師に迎え、ボードゲーム「セーザイゲーム」で製材の世界について学びました。

セーザイゲームは、製材業を営む中で「製材」について伝える木育コンテンツが無いという思いから、均一でない自然の恵みである丸太から歩留まり良く木取りをし、製品に仕上げて収益を上げる「製材」自体にゲーム性があることに着目し、製材会社が行う「仕入れ」「木取り」「販売」を遊びながら学べるよう、三重大学と共同で開発したボードゲームです。

ゲームは、4〜5人のチームにわかれてそれぞれが製材会社となりプレイします。はじめに丸太を仕入れるためにセリを行います。スクリーンに映し出された素材丸太の写真を見て、元玉かどうかや節の有無、径級から目利きをして希望の金額で競り落としします。そして、仕入れた丸太の木口を模したシートに、熊野のスギ材で作られた「材木ブロック」を並べて木取りを決め製材します。そうして、製材された製品を販売し収益を得て、如何に収益を多くあげられるかを競います。

丸太には良い方からS、A、Bと3つの等級があり、節に当たってしまうと材木ブロックの裏面にあるより安い製品にしか製材することが出来ないうようになってくることから、歩留まり良く木取りをするため参加者同士で真剣に悩

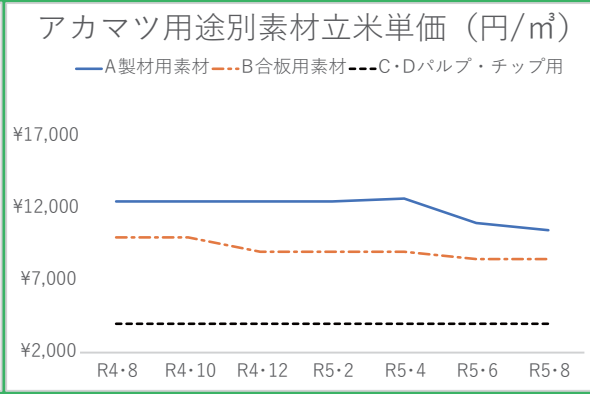
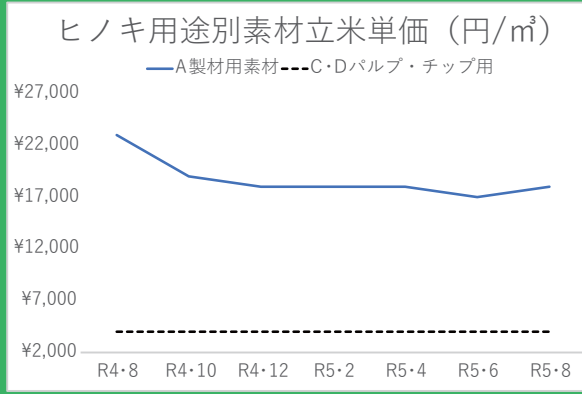
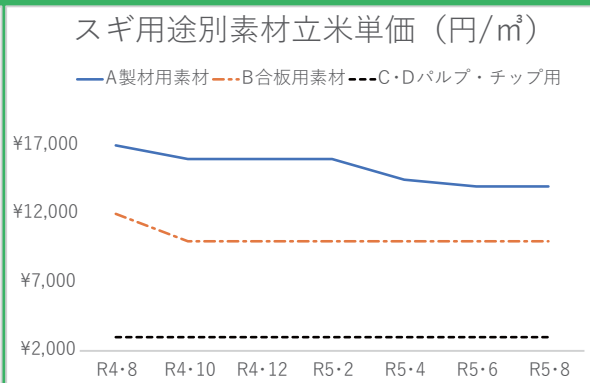
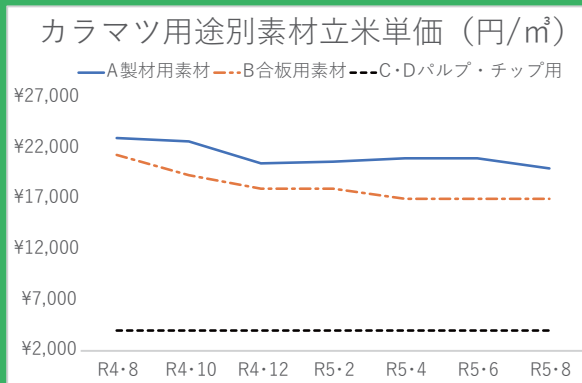


▲ゲーム後の座学では、データから見る林業や製材業の現状や、和室役物を得意としてきた熊野地域の林材業について、実家の製材会社を運営する中での課題や、より多く地域の材を使った製材品の顧客を増やすための展望などをお話いただいた。

セーザイゲームについてはこちらから↓



JForest 長野県の木材市況



※北信、中信、伊那木材センターの市況表より作成

猛暑が続く中、出荷者の皆様には8月の各木材センター市売に多くの出品をいただきありがとうございました。広葉樹の良材やスギ、ヒノキの長尺材に活発な応札があり値を付けました。しかしながら、依然として製材用・合板用のカラマツ、スギ、ヒノキの需要は低迷しており、価格も値下げ傾向です。

各木材センターでは、引き続き市況を見ながら需要に合わせた仕分け・はい積みをしてまいります。また、11月には各木材センターで記念市が開催されますので、これから伐採、出材を計画されている方はご相談ください。

引き続き集荷のご協力よろしくお願いいたします。



▲伊那木材センターに出品されたクリ材

【当連合会は合法木材に取り組んでおります】

合法木材供給事業者の認定を取得したうえで、出荷時には合法的に伐採された木材であることのコメントと合法木材認定番号及び伐採地と伐採箇所が記載された納品書及び伐採届の提出をお願いします。

※安全のため、木材センターでの荷下ろし・積み込みの際には車止めの使用とヘルメットの着用をよろしくお願いいたします。



県森連 HP では市売情報を写真付きで随時更新しております！

最新の市況表もご覧いただけますので、納材や入札の検討にご活用ください！

「長野の林業」のバックナンバーもこちらから♪

